

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 学力向上実践研究推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校支援課 教科教育第一係 電話番号：058-272-1111 (内 3696)

E-mail：cl7782@pref.gifu.lg.jp**1 事業費** 2,568 千円 (前年度予算額： 2,568 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,568	2,568	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,568	2,568	0	0	0	0	0	0	0
決定額	2,568	2,568	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

知識・技能を確実に習得させ、それらを活用することを通して、思考力、判断力、表現力等の能力や資質を育むための指導方法等について、県内をリードする先進的な実践研究を推進し、成果の普及を図る。

(2) 事業内容

研究指定校を決定し、先進的な指導方法等の実践研究を実施し、公表会等により成果の普及を図る

(3) 県負担・補助率の考え方

国負担 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	117	講師謝金
旅費	494	講師旅費、推進校教員視察旅費、全国協議会旅費
消耗品費	295	教材提示装置、ホワイトボード、インク代等
印刷製本費	145	報告書印刷代
役務費	9	報告書郵送代
委託料	1,500	市町村委託金
負担金	8	全国大会参加費
合計	2,568	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針3 未来を切り拓くための基盤となる力をはぐくむ教育の推進

目標1 1 これからの時代に求められる資質・能力の育成

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和3年度中に、研究実践推進校において、新学習指導要領の全面実施を見据えた教育課程の編成並びに学習指導の改善等について調査研究を行い、その成果を県内の各学校に紹介する。そのことをもって、教育課程の改善並びに学習指導の充実に資する。また、そのための指導・援助を具体的に行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
研究成果の普及のための公表会を実施した学校の割合	100% (H21)	100% (H28)	100% (H29)	100% (H31)	100% (R3)	100%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

研究指定1校（岐阜市立柳津小学校）を指定し、以下の研修会等を実施し研究を推進した。

- ・年間を通じた研究授業及び授業研究会
- ・文部科学省学力調査官による研究指定校の訪問指導
- ・大学教授を交えた研究推進委員会

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

研究指定校において学習指導要領の趣旨等の実現のために、指導方法等の工夫改善に関する実践研究を行うことができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導方法などの開発は、学校現場にとって必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	研究指定校では、指導方法の具体的な工夫改善などが図られ、その成果が県内の各学校の支援に活用されている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	研究指定校と情報交換を密にして、適切な指導助言を行っている。また、国立教育政策研究所の担当官とも連携しているため、事業の効率化が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>研究成果の普及が課題となっている。研究成果の普及については、ホームページを活用しながら行っているが、さらに研修会等で指定校の取組を広く周知したいと考えている。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>研究指定校の取組を市町村教育委員会の研修会や教科別の教育研究会で紹介し、積極的に各学校で活用できるように支援する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	